

第3学年 総合学習「未知との遭遇」

やらされる総合学習から生徒が共に創る総合学習への試み

菌部 幸枝

学年担当：加々美[○]・渡辺・菌部[○]・塩ノ谷・福田・小宮・山梨・小泉・松本
 (○印は総合学習担当者)

目 次

I はじめに

- | | |
|--------------------|-----|
| 1. 総合学習のねらい..... | 188 |
| 2. 指導計画と実践の概略..... | 189 |
| 3. 運営組織..... | 190 |

II 実践報告

A：学年テーマ決めからグループの成立まで

- | | |
|--------------------|-----|
| 1. 学年テーマ決め..... | 190 |
| 2. グループ成立に向けて..... | 192 |

B：グループ活動開始とそれを支える学習

- | | |
|-----------------------|-----|
| 1. グループの活動..... | 197 |
| 2. 総合学習スペシャルウイーク..... | 199 |

C：第3学年での取り組みとまとめ発表まで

- | | |
|--------------------|-----|
| 1. 第3学年での取り組み..... | 201 |
| 2. 発表とまとめ..... | 202 |

III 実践を振り返って

- | | |
|-----------------------------|-----|
| 1. 生徒が創り出す総合学習への試みについて..... | 207 |
| 2. 創造を支える情報活用力の視点から..... | 208 |
| 3. 成果と課題..... | 211 |

IV おわりに.....

要 旨

本学年では「やらされる総合学習」という意識を持つ生徒、何もしないで総合学習を終える生徒がいることが問題となっていた。本稿ではこれを解決するための工夫と実践を報告することにする。生徒による学年テーマ決め、審議会によるグループとその課題審査、生徒による企画・運営などに重点を置いた試みを計画した。この試みを実現するため、第2学年の秋から第3学年の卒業までという長い期間をあてることにした。また、これまで通り学年裁量型総合学習でのねらいである共同学習の体験と、それに必要な問題解決の力の育成にも重きを置いた。更に、本校で取り組んでいる「創造を支える情報教育の力」の観点も視野に入れて実践し評価した。

I はじめに

1. 総合学習のねらい

(1) 本学年の総合学習の目標とねらい

本学年は「『生きる』一中学校生活の中で自分を生かし、21世紀に誇りを持って生きるになろうー」を学年目標とし、総合カリキュラムおよび行事に取り組んできた。総合学習では特に「他者理解と自己理解」を目標に、第1学年では国際理解に着目して横浜遠足や東京探訪を実施した⁽¹⁾。

第1学年の総合学習で問題となったことが2点あった。一つは全体として総合学習に対する意識が低いこと。もう一つは主体的に活動しない生徒が少なからず存在することであった。この主な原因として次の点が考えられた。

- ・テーマや取り組み方を教官側が示したため、生徒にとっては受動的な学習であった。
- ・活動単位が生活班であり、しっかりした生徒たちが中心になって進めた。

この反省のもと、第2学年の総合学習では、生徒全員が課題を自分のこととして捉え、主体的・意欲的に取り組んでいってほしいという願いが強く加わることになった。

(2) 本総合学習の工夫と試み

前述のような目標やねらいをふまえ、第2学年後期からの総合学習の準備が始まった。総合学習を始めるに当たって、学年担当教官8名で何回か話し合った。

当初「国際理解、福祉、環境、中学生の問題」などの大テーマを学年テーマとして教員側から提示していくつもりであった。しかし、「生徒ひとり一人に主体的に考えさせ行動させたい。」「本学年の生徒は最初に枠をはめると、やらされるという感覚を持つ傾向がある。」「思い切って枠をはめずに学年テーマを決めてみよう。」という結論になった。

また、グループ課題の具体性や研究の見通し、方法の妥当性などについて、生徒同士で審議することでグループの成立を認める方式をとることにした。

課題決定に時間がかかると予想されたことと、例年の第3学年後期の総合学習が時間不足のため不十分な取り組みになりがちであることを考え、期間延長に踏み切った。意欲の継続が懸念されたが、生徒の気持ちを盛り上げるために留意し継続させていくことになった。

- ① 学年テーマからグループ・課題まで全て生徒たちで考え決めていく。
 - ② 課題審議会を設け、グループの課題と研究の見通し、まとめの構想を審議する。
 - ③ 各グループの研究を学年全員で共有していく。
 - ④ 第2学年から第3学年卒業時までの長期間にわたっての取り組みとする。

2. 指導計画と実践の概略

総合学習は共に何かをやり遂げるために求められる力や手法を学ぶ場でもある。意見交換をしたり、役割を分担したり、調整したりまとめ上げたりする能力や社会性などができるだけ育つように総合学習を計画していこうと考えた。

本校では2001年から「創造を支える情報活用の力⁽²⁾」に着目し研究している。そのような視点から実践を見直すと下の（表1）のようになった。特に問題解決の一連の活動に必要な実践力、コミュニケーションとコラボレーション、思考力に重点を置いて進めてきたことが再確認された。

（表1） 実践の概略

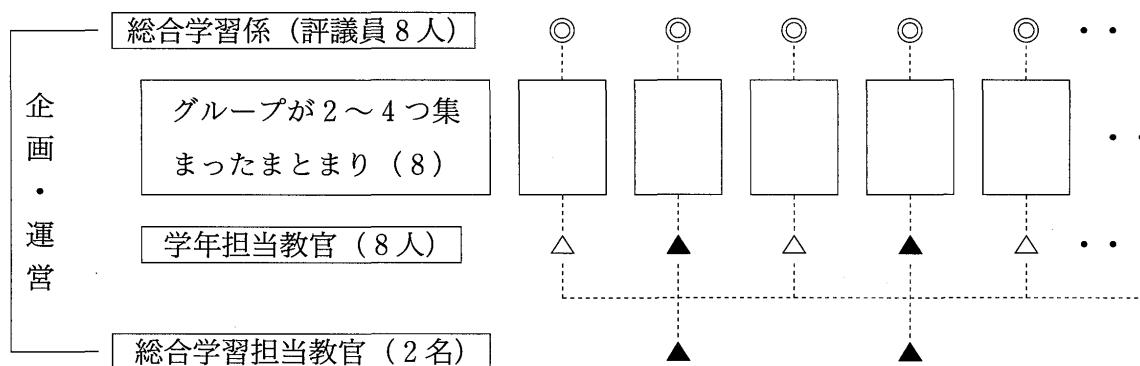
| A : 学年テーマ決めからグループの成立まで(2001年10月～12月) | 活 | メ | コ | 考 | pc |
|---|---|---|---|---|----|
| ガイダンス (10/19, 6校時) | ○ | | | | |
| 学年テーマ決め (10/22朝, 23日 6校時) | ○ | | | ○ | |
| 個人の課題決め (10/31, 6校時) | ◎ | | | ◎ | |
| グループづくり (11月初旬の放課後) | | | ◎ | | |
| グループ課題と研究計画 (11/6, 6校時) | ○ | | ○ | ○ | |
| グループへのアドバイス (11/16, 17放課後) | ○ | | ○ | ○ | |
| 総合学習の意義、自主研究との違い (12/1, 5校時) | ○ | | | ○ | |
| グループ課題と研究計画の再考、アドバイスの交換 (12/1, 6校時) | ○ | | ○ | ○ | |
| 課題・グループ審議会 (12/12, 13の放課後) | ○ | | ○ | ○ | |
| グループの成立認定とミニ課題・グループ審議会 (12/17～) | ○ | | ○ | ○ | |
| B : グループ活動開始とそれを支える学習 (2002年1月～3月) | 活 | メ | コ | 考 | pc |
| グループの活動開始 (1/15, 2/1, 2/12の5, 6校時) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 見学やインタビューの方法を学ぶ (1/25, 5校時とグループ活動(6校時)) | ○ | | ○ | | |
| 見学やインタビューの実践 (2/3～11) | ○ | | ○ | ○ | |
| グループでの課題解決方法を学ぶ (総合学習スペシャルウイーク 3/6～15) | ○ | | ○ | ○ | |
| 外部講師から学ぶ (〃) | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 中間発表 (できるグループのみ) (〃) | ○ | | ○ | ○ | ○ |
| C : 第3学年での活動とまとめ・発表 (2002年4月～2003年3月) | 活 | メ | コ | 考 | pc |
| 修学旅行 (岩手) との関連と計画 (4/11, 5, 6校時) | ○ | | ○ | ○ | ○ |
| これまでの振り返りと今後の計画 (10/22, 5, 6校時) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 中間報告 (全グループ) (11/14～22の朝や放課後) | ○ | | ○ | ○ | |
| グループでの活動 (10/25, 11/15, 12/10, 2/1, 5, 6校時) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 学年で共有するための発表準備 (2/12, 5, 6校時) | ○ | | ○ | ○ | ○ |
| 最終発表会 総合学習フェスティバル (3/10～13の午前中) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 文書によるまとめ | ○ | | ○ | ○ | ○ |

活：情報活用の実践力 メ：メディアに対する理解と態度 コミュニケーションとコラボレーション

考：思考力および思考のための技法 pc：コンピュータやネットワークの活用

3. 運営組織

第2学年では、第1学年のときと同様、クラス代表である評議員が総合学習係を担当した。第3学年では総合学習係を各クラス2名ずつ募った。全体の企画・運営を行うとともに、グループのまとまりを担当し、細かい指示を出したり相談に乗ったりする仕事も受け持った。



II 実践報告

A：学年テーマ決めからグループの成立まで

1. 学年テーマ決め

(1) 総合学習を始めるに当たって

評議員と担当教官で話し合い、最初のガイダンスから全て評議員が進めることになった。10月19日6校時のガイダンスでは、これまでの流れとこれからの総合学習についてテレビ放送（写真1）で説明した。（資料1）はこの時のために評議員が準備した説明原稿の一部である。



(写真1*) テレビ放送による総合学習ガイダンスの様子

(資料1) ガイダンス用に準備した生徒の原稿

| | |
|--|---|
| <p>（流れと目的）</p> <p>次にこれからのお流れを説明します。</p> <p>今週の2学期から3年生の3学期までの長い間にわたり、校内予定です。ですから、後で詳しく説明がありますが、長期間続ければどうかテーマが必要ですね？そこで、さっそく熊坂さんがアトリエでいたことを思い出してください。今までのテーマは先生方に与えられたものを更に班ごとに細かくわけたものをすすめていました。</p> <p>けれども今日はまあ、ちち、ぬあんと！学年の大きいテーマから「グループ」というテーマまで子たちが自分たちで決めるのです。（わがお得）その決め方にについて、後で高野さんと森山くんから説明があります。</p> <p>（文）またこれまでの総合学習の活動は班毎でですが、今回はそのグループも、自分で決めらるね。これについては後で秋山さんと工藤くんから説明があります。</p> <p>（2）テーマかな今までしてきました。今、何をしていくか</p> | <p>（流れと目的）</p> <p>例文は、文章で「まちやまにとどまらず」と書く。</p> <p>そして、一つの作品を作り上げたり、自分達が思いやアドラーをもつとしたものに取り組みます。3年生は3月のまとまります。2年生は2月に行われる中間発表を終え、よいよいまとめていってください。</p> <p>二つ具体的な流れは、次の説明を聞いて下さい。</p> <p>最後に（流れと目的）</p> <p>今回の目的は、自分達が問題題材に感じていることから課題をつけて、自分で解決していくといいます。</p> <p>一人一人が頑張り、そして一緒に問題題材を解決していくね。</p> |
|--|---|

(2) 学年テーマを決定するまで

① 課題の発掘 (10月19日朝)

学年テーマを考えるに当たり、テーマだけを募るのではなく、自分がどのような課題に取り組みたいかを考え、それに合わせた学年テーマを考える方法をとった。そのため次のようなアンケート(資料2)をとった。

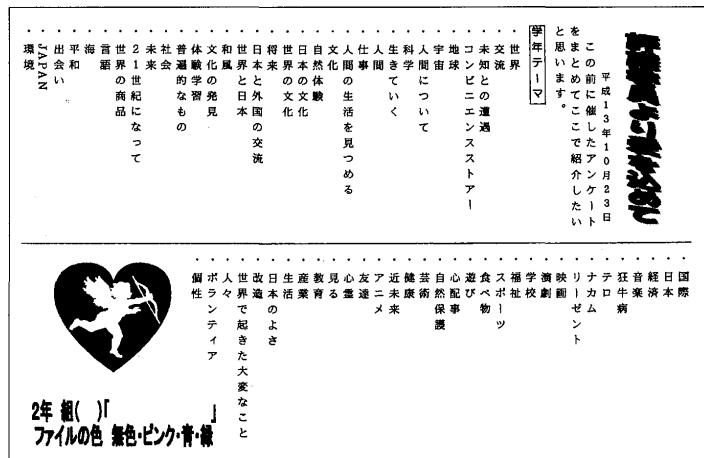
| | |
|--|---|
| <h1>総合学習アンケート</h1> <p><u>2年松組</u></p> <p>総合学習のテーマを決めるアンケートです。(複数可)</p> <p>1 学年テーマにしたいこと 例) 交流・自然 人々の交流を深めよう 将来 ↓ ↓</p> <p>2 大きなテーマにしたいこと 例) 世界・海 世界 ボランティア 職業 ↓</p> <p>3 自己の課題にしたいこと 例) スポーツ・魚 食べ物 幼稚園 同じ職業希望 同士でグループをつくる 日本にいる日本の人々、社会的地位 ↓</p> <p>アンケートを整理して、評議員で候補を選び、みんなで決めます。</p> <p>2001.10.19 評議員</p> | <p>学年テーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界 交流 未知との遭遇 コンビニエンスストア 地球 宇宙 人間について 科学 生きていく 人間 仕事 人間の生活を見つめる 文化 自然体験 日本の文化 世界の文化 将来 日本と外国の交流 世界と日本 和風 文化的な発見 体験学習 普遍的なもの 社会 未来 21世紀になって <p>大きなテーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> 音楽 植物 生物 食物 機械の進歩・発展 今後の生活 国際 福祉 経済 世界の子供たちに発信 スポーツ 川 海 水辺 職業ボランティア 食文化 日本 海 陸 過去 現在 人はなぜ生きる 人間の義務 人間の心理 宇宙 科学 地球 自分とは違う生活をしている人 精神 環境 宗教 ヨーロッパ アジア セブンイレブン 日本人以外の世界の人と協力 役立つこと 世界の商品言語 <p>2年松組(17)</p> |
|--|---|

(資料2) 学年テーマアンケートとまとめ

② 学年テーマ決め (10月23日朝)

第1回アンケートの学年テーマをまとめ、学年生徒に示す資料とした(資料3)。その中から評議員が数の多かった4つを学年テーマ候補に選び、再度アンケート(資料4)をとった。その結果「文化」と「未知との遭遇」に絞られた。そこで更にアンケートをとることで多数決で決めることになった。7票という僅かな差で「未知との遭遇」が選ばれた。

(資料3) 学年テーマ一覧



(資料4) 学年テーマ再アンケート

→

2. グループ成立に向けて

(1) 個人の課題決めとグループづくり

決定した学年テーマを学年生徒全員の前で発表した(写真2)。その後は生徒ひとり一人が学年テーマに合わせて自分の課題を考え、その課題をもとにグループをつくることにした。



(写真2*) 学年テーマ発表の様子

★総合学習 学年テーマ 候補

～評議員より発表をこめて～ 2001.10.23 朝

前回(10/19)に行ったテーマ決定のアンケート結果を評議員で絞った結果、以下の4つの候補が出ました。
自分がやりたいと思うテーマを丸でかんで下さい。

・交流 ・文化

・未来 ・未知との遭遇

ありがとうございました。
アンケートが終わったらクラスの評議員へ

★ ★ ★ ★ by 評議員

(資料5) 個人課題決定票

| | |
|---|--------------|
| 自分の課題なんじやうた今 | |
| —課題決定票— 2001.10.31 (総合学習) | |
| 課題 | テレビ番組の舞台裏 ☆★ |
| 未知との遭遇との関係 | |
| テレビは皆見られるけど、 その裏側はよく知られていない……。 | |
| ※このあと、上の課題をもとに評議員がグループ分けをします。そのグループをもとにさらに大テーマも決めるつもりですが、あらかじめご了承下さい。 | |
| ～評議員より発表をこめて～ | |
| 31日の終りで「クラス毎に集めます。」 | |
| 2年()組()番 | |

10月31日、学年テーマ「未知との遭遇」をもとに自分で取り組みたい課題を考えた。個人課題決定票（資料5）をもとに評議員が課題名簿一覧をつくりプリントを配布した。グループの人数を4～7人とし、生徒はグループづくり及び審議用紙（資料6）記入事項の話し合いに取りかかった。

(資料6) 審議用紙

| | |
|---|--|
| 2001.11.6 | |
| 総合学習審議用紙 | |
| 学年テーマ 未知との遭遇 ＜大テーマ＞ そうぞう ＜グループテーマ＞ 恋愛心理学 ＜メンバー＞ 班長 副書記 (計5名) | |
| ＜テーマとの関連性・総合学習として取り組み意義＞ 恋愛とは先が誰にも分からぬ。つまり未知だから。 恋愛心理学について学び、自分なりの考え方を導き出すことの意義がある。保体と関連性がある。 | |
| ＜研究の方法＞ ① インターネットや文献調査。 ② 心理学者にインタビュー。(学びに行く。) ③ アンケート調査。 | |
| ＜研究の予定＞ 二学期 アンケート①②の具体的な内容を決める。 そして、①を作り配る。 夏休み 集計をする。その結果から自分なりの考えを出す。 三学期 グループで1つの考え方を出し、その考え方をもとに心理学者に学びに行く。 中間まとめ 9/12, 13 * | |
| 一学期 アンケート②を作り配る。そして、集計し、グループで1つの考え方を出す。 夏休み その考え方をもとに、心理学者に学びに行く。 二学期 今までのことをまとめあげる。心理テストを作る。 三学期 総合まとめ | |
| ～最終まとめ～ 調べてきにことを全てまとめ1冊の冊子を作る。 ↓ • アンケートの結果 希望者にのみ配る。 • 心理学者から学んだこと 自分達が作った心理テストと一般の心理テストを比較。 • 文献調査の結果 総合学習のお祭りでは… それとは別に 『心理テスト』を作成。 『心理テストゲーム』をする。 | |

(2) 審議会の準備

各グループから提出された審議用紙を評議員が目を通したところ、十分に練られたものが少なかった。そのため、それぞれにアドバイスを考え（資料7），それを各グループに伝える機会を設けた。

(資料7) 各グループへのアドバイスを記録したノートの一部

| | |
|---|---|
| ④ 恋愛心理学 恋愛心理学はなぜかしたらどうするのか？ ハジキはなぜかいたらどうするのか？ ハジキはなぜかいたらどうするのか？ ハジキはなぜかいたらどうするのか？ ハジキはなぜかいたらどうするのか？ ハジキはなぜかいたらどうするのか？ | 他のグループに、調べてほしいことを紙に書いて渡す(お互いに) 時間をとる。みんなにていて、それをもらう。 それぞれのグループがやりたいことを発表しあう。 ↓ 各グループにプリント(A3)を配り、そこにやってほしいものを書く ↓ 回収して各グループに配る ↓ もらった紙をそとにグループで検討する ↓ 11月17日 明日の流れ 評議会実験 ↓ プリントを発表配布 ↓ 審議用紙と今までのプリントを落ちたグループに配る ↓ 合格した所は下調べを終える。(活動開始) |
| ⑤ 日本の伝統工芸 美義はよ書かれています！木工が最終的には何なのでしょう。 伝統工芸をまとめて何がよきせよう。 | |
| ⑥ 髮型 髮型の流行はいかがで、髪型の歴史、世界の髪型、ハゲ、白髪の実体。 パートナーに似合っているか。 パートナーに似合っていないか。 みんなに、知りたいことをアホドコロとして調べてみる。 | |

審議会は評議員と各グループから選ばれた審査員と教官とで行うこととした。審査員には評議員から「密書」という形で審議のポイントや方法、心構え（資料8）が伝えられた。

(3) 審議会の実施

グループは課題によりA～Hの8つにまとめられた。審議会はそのままとまりごとに行うこととした。それそれに3～4のグループがあり、1つのグループが審議の対象の時、それ以外のグループの審査員が審議に参加することとした（写真3）。

先ず審査員（評議員、教官を含む）に審議用紙（資料6）のコピーと審査用紙（資料9）が配布される。続いて審査員と審議対象のグループのメンバーによる質疑応答が限られた時間内に行われる。その後直ちに審査員は審査用紙に評価を記入していくのである。

合否の基準は次の通りである。ある審査用紙を見た時、10項目の審査項目のうち8項目以上に○がつけば、その審査用紙は合格となる。合格になった審査用紙の数が全体の約9割に達したグループのみ成立が認められるのである。



(写真3*) 審議会の様子

(資料8) 審議の心得・ポイント

★★門外不出！！！

誰でもなれる！審査員マニュアル 秘

諸君。たった今緊急指令が出された！！なんと総合学習の審議の際、諸君にも他の班の審議をしてもらうことになったのだ！！総合学習の審議で審査員としてつとめられるようにならなければんぱってくれたまえ。なお、この報告は決してもらさぬよう。

審査員 心得

其の一 審議は公平な立場で行うため、私情をはさまない！

→ ×あいつ嫌いだから審議通さない！

其の二 私語はつしまれ！言葉は選んでつかえ！！

→ ×え！？それってだめじゃん？

其の三 審査用紙にはしっかりと記入。

注意：○と×以外かかないこと！！！

コメントはしっかり丁寧に書く！！！

其の四 お互いに成功するように、高めあうように進める。

・真剣に取り組むこと！！

注意：時間は厳守しましょう。★★筆記用具は忘れずに！！

其の五 相談しないで個人個人で考える。

以上の五つをクリアできれば、君は立派な審査員になるだろう。

では次に審査のポイントを言う。

・総合学習として取り組むかちはあるか？

・本人たちのやる気はあるか？

・グループ学習にふさわしいか？

・他の教科と関連づけているか？

・計画的に考えられているか？

・世の中のためにつながっているか？

・アドバイスが生きているか？

・みんなで共有出来るようなまとめになっているか？

・課題が長持ちするか（最後まで続きそうか？）

・審査用紙をきちんと書いているか？

以上10個の観点があり、それぞれ○か×をつけるようになっている。

このうち八割以上、つまり8個○がつけばとおりあえず用紙は合格だ。

審査員は評議員、グループ担当の先生、総合担当の先生、そして君たちで、人グループ3人ずつ出してもらうから大体計16人。そのうち14人の人が用紙に合格とければその班はようやく「合格」となる。

説明は以上だ。健闘を祈る。

評議員極秘審査員養成係

○司会（評議員）

| 審査員 | |
|-----|----------|
| 評議員 | 審議対象グループ |
| 教官 | 7名 |
| 審査員 | |

2日間に渡る審議会は、張感の感じられるものであった。結果は下の表（資料10）のようになり、合格したグループは一つであった。A～Hのまとまりを担当する教官は、審議用紙の○の数やコメントをまとめ（資料11）、各グループに渡し、再度話し合せた。

(資料9) 審査用紙

| 総合学習審査用紙 2001.12~15 グループ名 NSM 課題 果樹の育成 | |
|---|----------------------------------|
| ・総合学習として取り組むかはあるか？ | <input checked="" type="radio"/> |
| ・本人たちのやる気はあるか？ | <input checked="" type="radio"/> |
| ・グループ学習にふさわしいか？ | <input checked="" type="radio"/> |
| ・他の教科と関連づけているか？ | <input checked="" type="radio"/> |
| ・計画的に考えられているか？ | <input checked="" type="radio"/> |
| ・世の中のためにつながっているか？ | <input checked="" type="radio"/> |
| ・アドバイスが生きているか？ | <input checked="" type="radio"/> |
| ・みんなで共有出来るようなまとめになっているか？ | <input checked="" type="radio"/> |
| ・課題が長持ちするか（最後まで続こうか？） | <input checked="" type="radio"/> |
| ・審議用紙をきちんと書いているか？ | <input checked="" type="radio"/> |
| コメント | |
| やる気やグループ性（個性力）があり、少しだけでも頑張っている。 方針へ向けていきたい。 以上10個の観点があり、それぞれが×をつけるようになっている。 このうち8割以上、つまり8箇所が×よりあれば用紙は合格だ。 審査員は評議員、グループ担当の先生、総合担当の先生、そして君たちで、各グループ3人ずつ出してもらおうから大体計16人。そのうち15人が用紙に合格とつけられればその班はようやく「合格」となる。 | |
| 9 | |

(資料10) 審議結果

| 総合学習審議結果 2001.12.21 | | | | | | | | | | | | |
|---------------------|----------|------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-------|
| G | 班課題 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ | ⑦ | ⑧ | ⑨ | ⑩ | 合計 |
| | | 伝統工芸 | 18 | 19 | 15 | 17 | 19 | 15 | 15 | 15 | 18 | 19 |
| う | 日本の名所 | 8 | 12 | 10 | 11 | 1 | 6 | 6 | 9 | 9 | 4 | 2/16 |
| | 恋愛心理 | 19 | 19 | 17 | 15 | 18 | 14 | 15 | 19 | 16 | 18 | 16/19 |
| う | ロボット | 18 | 18 | 18 | 14 | 6 | 11 | 12 | 12 | 12 | 13 | 9/19 |
| | 心靈アート | 10 | 13 | 10 | 9 | 6 | 7 | 10 | 8 | 6 | 12 | 2/15 |
| A | 心靈現象 | 6 | 10 | 9 | 9 | 4 | 6 | 7 | 6 | 5 | 6 | 1/16 |
| | 夜の学校 | 10 | 12 | 9 | 7 | 6 | 8 | 9 | 9 | 7 | 12 | 6/14 |
| B | ゲゲゲ① | 10 | 14 | 10 | 8 | 11 | 5 | 11 | 13 | 9 | 14 | 10/14 |
| | ゲゲゲ② | 9 | 13 | 11 | 9 | 6 | 6 | 11 | 12 | 9 | 4 | 4/14 |
| D | お化け屋敷 | 7 | 13 | 13 | 2 | 9 | 6 | 12 | 13 | 10 | 12 | 5/14 |
| | 心靈写真① | 15 | 17 | 15 | 13 | 15 | 14 | 13 | 13 | 12 | 17 | 14/17 |
| C | 心靈写真② | 11 | 15 | 9 | 10 | 11 | 12 | 10 | 11 | 13 | 15 | 9/15 |
| | 心靈写真③ | 12 | 15 | 17 | 10 | 11 | 11 | 11 | 12 | 9 | 15 | 11/15 |
| D | デレ舞裏① | 17 | 18 | 19 | 8 | 12 | 11 | 15 | 18 | 19 | 18 | 14/19 |
| | デレ舞裏② | 15 | 17 | 19 | 12 | 11 | 13 | 17 | 14 | 16 | 19 | 15/19 |
| E | 映画舞台 | 15 | 16 | 16 | 13 | 14 | 7 | 14 | 14 | 17 | 14 | 12/17 |
| | 宇宙未来① | 12 | 13 | 13 | 4 | 11 | 12 | 10 | 12 | 12 | 13 | 11/13 |
| E | 宇宙未来② | 13 | 13 | 12 | 11 | 7 | 11 | 12 | 11 | 11 | 13 | 13/13 |
| | 千と千尋 | 12 | 13 | 11 | 6 | 7 | 6 | 11 | 10 | 10 | 13 | 8/14 |
| F | 流行を生み | 17 | 20 | 13 | 12 | 16 | 14 | 16 | 14 | 16 | 14 | 10/21 |
| | 未来に流行 | 12 | 15 | 12 | 10 | 10 | 7 | 12 | 12 | 11 | 4 | 5/18 |
| F | アーティスト選手 | 10 | 15 | 13 | 5 | 8 | 4 | 14 | 10 | 11 | 11 | 3/17 |
| | 髪型 | 8 | 15 | 10 | 6 | 3 | 10 | 8 | 10 | 10 | 4 | 2/21 |
| N | 夜行生物 | 13 | 15 | 8 | 16 | 7 | 14 | 14 | 10 | 10 | 6 | 9/16 |
| | 未来のスポーツ | 12 | 9 | 12 | 11 | 5 | 11 | 8 | 12 | 11 | 2 | 7/15 |
| M | もし非常事 | 15 | 14 | 13 | 8 | 6 | 14 | 13 | 13 | 8 | 13 | 9/15 |

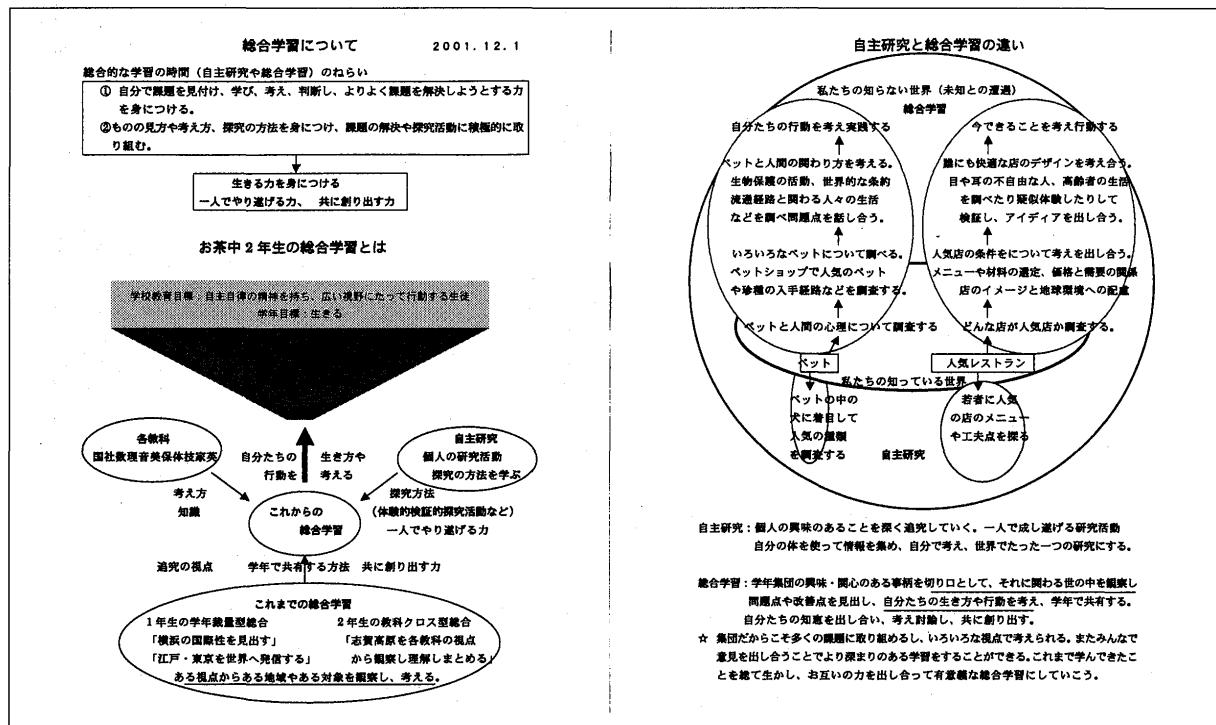
(資料11) 審査用紙の評価とコメント

| 総合学習・審査コメント グループ：ファッショ（髪型について） | |
|---|---------|
| △今回の審査のコメントです。不合格の人のコメントをよく読んでもグレードで検討し、次の活動に生かしていきましょう。 | |
| ◎合格にした人のコメント | |
| ・頑張ってください。 ・アドバイスが生きて、審議用紙が結構書けていたけど、もう少し細かい部分まで書けばさらに良くなると思います。これからも頑張ってください。 ・面白そうですね。頑張ってください。 ・説得力がなかったけど、でも、もっと頑張ればきっといいと思う。 ・頑張ってください。でも前回の問題点はやっぱり解決した方がいいと思います。 ・前よりも計画的になっていると思います。 ・コメントなし2名。 | |
| ◎不合格にした人のコメント | |
| ・やっぱりもう少しちゃんと考えた方がいいかもしれません。グループ学習としてやる意味がないような・・・。自分達オリジナルのテーマや研究、自分で新たな髪型を想像してみると・・・。 ・あなたが長持ちしない。アドバイスとか生きていない。質問されて、すぐ具体的に答えて欲しい。 ・質問にちゃんと答えた方がいいと思います。このままだと、ただの調べ学習になるから、グループでやらなくともいいと思います。 ・この間の審議のために何も変わっていない。この間の質問を含めてもっと改善すべきだとは? ・全般的に見ても、前と変わってないし、具体的に取り組む意義を書くように指摘されているのに、書かれていない。 ・誰かが質問してもちゃんと答えてられない！！まずはそこをしっかりしないとダメだと思う。 | |
| ◆結果 | |
| △14人中 合格8名 不合格6名 | |
| 各項目で○をつけた人の数 | |
| ・総合学習として取り組む価値はあるか？ | 8/14 △ |
| ・本人たちのやる気はあるか？ | 12/14 ○ |
| ・グループ学習にふさわしいか？ | 7/14 × |
| ・他の教科と関連づけているか？ | 7/14 × |
| ・計画的に考えられているか？ | 10/14 ○ |
| ※前々回のコメントです。（参考にしてください） | |
| ・世の中のためにつながっているか？ 7/14 × ・アドバイスが生きているか？ 7/14 × ・みんなで共有できるようなまとめになっているか？ 11/14 ○ ・課題が長持ちするか（最後まで続こうか？） 10/14 ○ ・審議用紙をきちんと書いているか？ 11/14 ○ | |
| ※前回のコメントです。（参考にしてください） | |
| ・なし ・もう少し審議用紙を細かく考えた方が良いと思う。頑張ってください。 ・頑張ってください。 ・頑張ってください！！ ・もう少し、しっかりと答えた方が得たかった。話し合う必要があるかもしれません。 ・教科と関連していない。していると言っているがこじつけっぽくて納得できない。 ・審議の時もちゃんと答えるように。 ・他の教科と関連づけているか、というのがじつけだったので、ちゃんとみんなが納得できるのをあげた方がイイと思う。 ・もっと頑張ってください。 ・前よりも良くなっています。 ・はっきり内容がわからない。 | |
| ※前々回のコメントです。（参考にしてください） | |
| ・ファッショだけ髪型は決められるのか。その人の生活スタイルや場面も考えなくてはいけないのではないか。学校生活・学校と髪型というような捉え方をするならわかる。 ・深まりが不足していますね。これだけでは学習としての意義が見つけられません。広げていてください。 ・ツラを作るのは大変だけど、その人に似合う髪型を見つけるのはとても良いアイデアだと思う。 ・もっと具体的に考えた方がいいと思うし、このことについて調べてどうするんですか？ ・もっとすべて具体的に決めた方がいいと思う。ツラを作りたいです。また実験台が山口君だけなのちょっと・・・。展示の時に困ります。。。よね？ ・「具体的に」っていうアドバイスに応えていないと思うし、かっこくなるとか、そう | |

審議会に合格しないグループの中には、総合学習と自主研究の違いを意識できていないところも多くあった。そこでプリント（資料12）を参考にしながら、総合学習や自主研究との違いを改めて確認した。また、特に総合学習では自分たちの課題を切り口に「世の中とのつながり」を考えるよう話をした。更に、グループ相互にアドバイスをし合い、小課題の発掘とその整理（資料13）をして、課題を見直す機会をもった。

第2回の審議会も同様にして行なわれたが、第3回以降の審議会はA～Hのまとまりごとに、そのメンバーで相互審査を行った。課題決めの段階がその後の活動を左右するため、合格するまで何度も繰り返した。

(資料12) 総合学習のねらいと自主研究との違い



(資料13) 小課題の発掘と整理

| 総合学習 | 小課題の発掘 | 総合学習 | 小課題の整理 |
|---|--------|---|--------|
| 小課題の発掘 <p>中心問題から発想できる小課題や世の中に関する小課題を自由に書き出してみよう。また、評議員や他のグループの人からのアドバイスも参考にしよう。</p> <p>例) 映画の発達 - A.I. STAR WARS</p> <p>宇宙未来の映画 →宇宙未来の映画 →アーミンドン、DEEP IMPACT</p> <p>過去に21世紀を予想して作ったと調べ、どのくらい実現されてしまったか(宇宙開拓と現在比較) → これまでにして22世紀に近く実現されていることと想像する。</p> <p>科学の発達・自然災害(環境破壊、気候) (侵略の本質) の映画を見る。冬休みの課題</p> | | <p>2001.12.11 6枚目</p> <p>小課題の整理</p> <p>グループ映像</p> <p>この総合学習に対する意見込みを述べてください。 自分達の未来を自分で創造するより良い 力を持ってからではあるまい。 複数の人数だからこそたくさんの未来像から 働きかけて、様々な視点からみに未来の答を 考えて成功させて!</p> | |

B：グループ活動開始とそれを支える学習

1. グループの活動

(1) グループの活動開始

グループ毎の研究を常に学年で共有するために、先ず成立したグループの課題と研究方法、まとめのイメージを報告していくことにした。朝の15分を使って7日間にわたって校内テレビ放送で発表した。

グループが成立し活動が始まると、その取り組み方には差があった。話し合いをスムーズに行い、文献調査や校外での取材活動の計画を立て、役割分担などを手際よく行うグループと、おしゃべりをして時間を無駄にしてしまうグループと二極化していった。そこで、次時に反省を生かせるようと考え評議員がグループ活動の記録と自己評価を記入できる用紙（資料14）を作成し、毎時間点検することにした。

| | | | <u>今日のまとめと感想</u> | | | 先生 | 評議員 | |
|-------------------|--|--|--|--|--|----------------------|--------------------|--|
| Aよくやった ①協力したか | | | Bまあやった ②意欲的に取り組んだか | | | C少しならなかった ③本日の達成度 | Dならなかった ④本日の達成度 | |
| 1/1 A A A | | | 審議会をやっていたのですが十回もしてけでアボーリーが出来ず残念でした。 | | | 14.2.17 | | |
| 1/2 A A A | | | 審議会が通じて書きました。元気になりました。 | | | 14.2.17 | | |
| 3/6 A A A | | | 庭で実験的に写真を撮ってみました。 ろくそくを(また)火を使いました。 | | | 14.2.17 | | |
| 3/7 A A A | | | 技術室へ入ったところでもっと見てみたい | | | 14.2.18 | | |
| 3/11 B B B | | | 「200X」という番組のビデオを見ました。 いの一番現象というのには石縁界が隣接しているらしい…。 | | | 14.2.18 | | |
| 書いたら担当の先生に提出すること♥ | | | | | | | | |

(資料14) 自己評価票

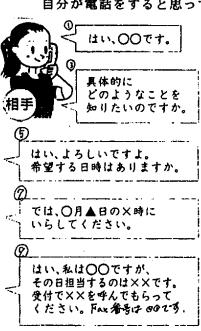
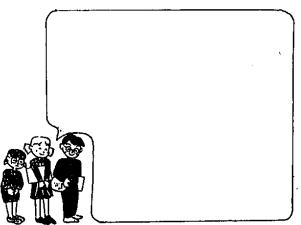


(写真4☆) 「伝統工芸」のグループがインタビューしている様子

(2) インタビューや見学の方法を学ぶ

本校では2月初旬の約1週間が入試自宅学習となる。この期間にグループで見学したりインタビューしたりするようにした。その際、必要となるマナーや基礎知識を学ぶ機会を設けた。担当教官が準備したプリント（資料15）をもとに評議員が授業を進めた。もちろん事前に評議員対象に学習会を設け、ねらいや内容を理解させた。学習後、プリントの参考資料としたテキスト⁽⁴⁾を各グループに配布し活動の補助資料とさせた。

(資料15) インタビュー活動をするための学習プリント（一部）

| 2年 組 番 名前 | |
|---|--|
| (2) 予約のしかた 電話のかけかた（自主研究） | |
| 電話をかけるときのポイントを下にまとめました。（ ）に何が入るでしょうか。考えてみましょう。 | |
| ①事前に（ ）の候補をいくつかあげておく。 ②メモと質問事項を書いた紙を手元に用意する。 ③相手の方が代わるたびに名のつたり（ ）を伝える。 ④相手の方や担当の方の（ ）、FAX番号を教えてもらう。 ⑤最後に（ ）と場所（ ）のお名前）を確認する。 ⑥お忙しい中、対応してくださっていることに（ ）の気持ちをもつ。 | |
| 自分が電話をすると思って吹き出しに適切な言葉を入れてみよう。 | |
|  <p>① はい、〇〇です。 ② ももし、私、今、総合学習! ③ できましたら、そちら について教えていただきたいのですが、よろしいでしょうか。 ④ ありがとうございます。第1希望は 月 日の 時から 時まで。 第2希望は 月 日の 時から 時まで。 ⑤ ありがとうございます。失礼ですが、 ⑥ ありがとうございます。お電話をさせてください。 それでは 月 日 時に いたします。 また今後は（ ）人です。担当の先生は（ ）です。 電話番号は（ ）です。どうぞよろしくお願いします。 〇〇さん本当にありがとうございました。</p> | |
| ☆ホームページにアクセスしてメールで問い合わせることも可能です。 | |
| ☆アポイントメントがとれたら顧問の先生に報告し顧問の先生からも連絡を入れてもらいましょう。質問状を送る必要がある場合も顧問の先生に相談しましょう。 | |
| 2. 訪問 いよいよ訪問当日です。次のことを考えてみましょう。 (1)どんな挨拶をしたらよいでしょうか。(2)何を用意したらよいでしょうか。 ア 学校からの依頼状 | |
|  <p>イ ウ エ オ カ キ</p> | |
| (3)どのような服装がよいでしょうか。 ①次の中で正しいものに○をつけてください。 () オフィスだが休日なのでジーパンとスニーカーを履いて出かけた。 () 寒いので制服の上にコートを着て出かけた。 () 寒いので訪問先の室内でもマフラーをしていた。 () 寒いので訪問先の建物(部屋)に入ってからコートとマフラーをとった。 () 寒いけれど訪問先の室内でもコートもマフラーもしないで制服で出かけた。 () 寒いけれどコートもマフラーもしないで制服で出かけた。 ②夏の服装で注意しなければならない点を考えよう。 | |
| (4)訪問時のマナーや注意事項 ①訪問（ ）に余裕をもって訪問する。 ②隠された（ ）を効果的に使う。 ③（ ）や録音をする場合は必ず許可を得る。 ④対応してくださったことへの感謝の気持ちを（ ）。 ⑤終わりの時刻を守る。 その他 | |

(3) 入試自宅学習期間

各グループの見学やインタビュー活動に加え、「日本未来科学館の見学」を全員必修とした（資料16）。これはグループの課題に未来や科学、宇宙に関するものが多くあったためである。また、学年全員で見学することで、各グループの研究内容を共有するよい機会となると考えたためである。

自分のグループの課題でなくても、展示物を前にすると生徒は興味を持って見学し、多くを学び考える機会となった。（資料17）

(資料16) 見学のお知らせ→

| 日本未来科学館見学について | |
|--|---|
| 2002.2.1 第2学年担任 | |
| 2年生の総合学習の大テーマは「未知との遭遇」です。そのもとで、グループ活動を行う際に、お互いの活動内容や学んでおいた方がよい内容を「共有」しながら進めようという方針です。 | |
| そこで、この自宅学習期間を通して、全体に関わる大テーマに沿うと同時に「映像」「そうそう」「未来」といったグループに直接関わる内容を進めることができるよう、以下の要領で「日本未来科学館」の見学を行ってください。 | |
| 特に、2月1日までは、「ロボットミーム展」という特別展覧会が行われているので、必ずみてください。 | |
| 1. 期日・時間 | 2月4日（月）午後 2月6日（水）午前・午後 2月8日（金）午後 のいずれかの半日 |
| 2. 活動の方法 | 総合学習のグループで日時を相談して見学する。 |
| 3. 見学料について | 学校で入館券を渡すので、必ずもっていくこと。 支払いは学校でまとめてします。（団体料金で160円） |
| 4. その他 | 制服着用 グループでの行動になるので、周りの方に迷惑がかからないように十分注意すること。 何かあったときには、学校に連絡をしてください。 5978-5865, 5978-5862（事務室） |
| <交通図など> 新交通ゆりかもめ（JR新橋駅から） 船の科学館駅下車 徒歩5分 テレコムセンター駅下車 徒歩4分 | |
| 東京臨海高速鉄道 りんかい線（JR京葉線・地下鉄有楽町線 新木場駅から） 東京テレポート駅下車 徒歩15分 | |

(資料17) 日本未来科学館見学記録用紙

| 日本未来科学館見学記録 | |
|---|--|
| 見所ポイント | 2002.2.2 |
| その1 ロボットミーム展 これは話題になっている特別展示です。未知との遭遇です。 入口は奥の方です。展示は7つ。どれがどうなのかしっかり見ましょう。 | |
| その2 1F 入ったところのすぐ上 宇宙から見た地球です。直径6.5m。その時々の情報が表示されています。これもこの科学館の目玉です。ぜひ5階から3階までスロープを通っておいでください。 | |
| その3 各展示場所にある科学者の「研究者インタビュー」これは1つはきちんと見ましょう。 | |
| その4 ロボットASIMO君これは正規の職員だそうです。毎日13:30から研修中の様子が見られます。 | |
| その5 5F 「脳」のコーナー | |
| その6 5F は全体として宇宙、未来、深海、フロンティアなど未知との遭遇がいっぱい。 | |
| 展示のテーマ | 自分で印象に強く残ったり、感じたところ。 |
| 地球環境とフロンティア 1F | 人類の科學はどうして進歩していくのか? 結局のところ、たどりついたところはや。やはり自然の力を利用することなんだと感じた。どんなに強力な薬でも、土をきれいにすることは、微生物にはかなわないのです。時間では、洋のものと、うかなりの差がありますが、その後のこと、「集めたゴミはどうなへ?」こんな大きな問題で薬品ではなく、いかで、家の造りも、工場やタクシードライブ、クーラーや暖房で便利ですが、天然素材がなんとかんたと言っている。 |
| 技術革新と未来 3F | 見事! ASIMO君を見ることができました。感激です。テレビでは何度もありましたかいほん、に可憐いらかっていました。まるで生きているかのような動作は、車では、人とも言えない駆動かありました。ここで出会ったロボット達は、階段とスムーズにのぼるロボットや ASIMO君など、今まで私に概念「ロボット」というロボットそのものでした。ロボットミーム展のロボットトイももちろん、というのでしょうか? リニアモーターとはちがう仕組みで、あの動きを、おもしろかったです。 |
| 情報科学技術と社会 3F | インターネットのモデルが、あれはスゴイです。仕組みをよく分かっています。自分の手を動かして機械と一緒に動かしたことか良かったです。人間の頭では(動作の時間もありますが)何をかかって、やっと1文字うつとができるのに、コンピューターは、1秒100回と処理することができることを考えると、やっぱりすごいと思いました。あと、自分がいたかも、画面の上の世界にいるような錯覚をあびます。美術館館内やつもすごいと思いました。でも自分の存在というものが、本当に動きに動く体、視覚、そして会話を聞き声を開き音がわかるこのみんなの世界ですか? |
| 生命の科学と人間 5F | 3月では、人間の存在と蘭の知能の違いであやふせしていましたが、ここに来て、やっぱり人間はほんまにスゴいんだと思いました。意志をあらわすものの発信源が面白いと月出です。山の模型があって、少し、気味が悪いところもありましたが、自分の体でも、このフロアには他の所と比べて、少し理解するものがむずかしかったのですが、自分自身は、一見にしみず。ここでは、模型や虫のせいで、グリムというよりも、矢張りしました。そこでは、模型や虫のせいで、矢張りしました。模型や虫のせいで、矢張りしました。模型や虫のせいで、矢張りしました。模型や虫のせいで、矢張りしました。模型や虫のせいで、矢張りしました。模型や虫のせいで、矢張りしました。模型や虫のせいで、矢張りしました。模型や虫のせいで、矢張りしました。模型や虫のせいで、矢張りました。 |

2. 総合学習スペシャルウイーク

3月の6日、7日、13日、14日、15日の5日間を「総合学習スペシャルウイーク（資料18）」として、グループの活動に加え「統計処理と統計の見方（資料19）」や「グループでの話し合いの進め方（資料20）」を学んだり、下の（表2）のように講師を招いて各グループの課題に関連するお話を聞いたり、中間発表を行ったりした。

(表2) 講師と講演テーマ

| 講師の先生 | 講演テーマとグループ研究との関連 |
|------------------|--|
| 北川 恵さん (NHK) | 『「テレビの舞台裏」の基礎を学ぶ』『「テレビ番組の舞台裏」などの映像に関する課題のグループが複数あった。 |
| 伊藤美奈子先生 (お茶大) | 『「心理学」特に青年心理学の基礎を学ぶ』『恋愛心理学』を課題にするグループがあった。 |
| 西平 美保先生 (本校) | 『「五行陰陽説」の基礎を学ぶ』『風水』を課題にするグループがあった。 |

各講演は基礎編と発展編の二部構成でお願いした。基礎編は学年全員で、発展編は関連するグループと希望者が聞くようにした。どの講演も生徒の気持ちを擰む興味深いお話で、学年全員の各課題に対する関心が高まり、学年で共有するという視点からも効果的だった。

(資料18) 総合学習スペシャルウイーク予定表

| 3月総合スペシャルウイーク | | | | | | | | | | | |
|----------------------------|----|---|---|----|--|----------|----|----|----|----|--|
| 【予定】 | | | | | | 2002.3.5 | | | | | |
| 3月6日(水) 3月7日(木) | | | | | | | | | | | |
| M | 美 | 美 | 社 | 音 | | M | 総合 | 技 | 技 | | |
| R | 接 | 技 | 社 | 英 | | R | 総合 | 音 | 社 | | |
| K | 社 | 数 | 英 | 3社 | | K | ② | 美 | 音 | 3社 | |
| U | 数 | 社 | 技 | 接 | | U | 総合 | 英 | 3社 | | |
| 3月13日(水) 3月14日(木) 3月15日(金) | | | | | | | | | | | |
| M | 接 | 技 | 社 | ○ | | M | 総合 | 総合 | 総合 | | |
| R | 社 | ○ | 美 | 美 | | R | ④ | ⑤ | ⑥ | | |
| K | 3社 | 社 | ○ | 英 | | K | U | U | U | | |
| U | ○ | 理 | 英 | 社 | | | | | | | |

【総合学習の予定】
 ○統計処理と統計の見方（加々美先生の講義）
 ①グループ活動（基礎調査、アポイントメント、春休みの活動計画など）
 ②〃
 ③〃
 ④『テレビの舞台裏』基礎を学ぶ。NHK、北川恵さんのお話
 ⑤『心理学』基礎を学ぶ。お茶大、伊藤美奈子先生のお話
 ⑥グループでの話し合いの進め方を学び実践する。
 ⑦中間発表会（インタビューなどの活動を実践したグループ）
 ⑧修学旅行と総合学習
 ⑨『五行陰陽説』基礎を学ぶ。お茶中、西平美保先生
 ⑩春休みの活動の最終打ち合わせ。

☆このスペシャルウイークと春休みが研究の稼（かせ）ぎ時です。ガンバロウ！

(資料19) 数学資料プリント (一部)

| 2年総合学習 数学 データを処理しよう | | | | | | | | | | | |
|---------------------------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 1. データ処理の流れ | | | | | | | | | | | |
| 収集、加工、分析、類推 収集 | | | | | | | | | | | |
| 加工 | | | | | | | | | | | |
| 分析 | | | | | | | | | | | |
| 類推 | | | | | | | | | | | |
| 2. データを収集しよう アンケート調査など | | | | | | | | | | | |
| 3. データを加工しよう | | | | | | | | | | | |
| そのデータに適当なグラフを用いる。 | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |

(資料20) グループ課題の解決法を学ぶプリント (一部)

| 2年総合学習 グループでの課題解決の方法を学ぼう 2002.3.14 | | | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 課題解決のステップ | | | | | | | | | | | |
| 【課題（目標）の設定】 先ず「何について」を決めますが、それだけでは、課題の設定にはなりません。「何について」「どうしたいか」を明らかにし、目標を定めることが課題の設定になります。 自主研究の課題決定票を思い出してください。「何について」「どうしたいか」を自由に発想し記録しました。それらをもとに研究の目標や研究方法、小課題の整理を行いました。グループでの課題設定も基本は同じです。 | | | | | | | | | | | |
| メンバーや自由に発想し、考えを述べること、メンバーの意見を集約していくことがグループでの課題解決において、重要な役割になります。ここでは、その方法を学んでいきます。 | | | | | | | | | | | |
| 1. アイディアの出し方 | | | | | | | | | | | |
| 【ブレーンストーミング】 創案者はアレックス・オズボーン。世界で一番広く使われている。アイディアを次々出していき、その量が多くなるほど、情報素材が増え、それだけ質の高いアイディアが出てくるという経験をもとにつくられた発想法。 話し合いのルール ①出てくるアイディアに対して良い悪いの批判を一切しない。 ②「自由奔放」を歓迎する。（オリジナリティーのあるユニークなアイディア） ③アイディアの量を求める。 ④他人のアイディアへの便乗・改善を奨励する。 | | | | | | | | | | | |
| ブレーンストーミングをスムーズに進めるために ○話し合いを進める司会者は助まし役となり、「○○さん何かアイディアはありませんか」とみんなの注目を一人に集めることはせず、「あと10個出してもいいでしょう」というようにグループ全体を動かすようにする。 ○アイディアを記録する書記も発言できる。 ○参加者の人数は5~6人程度が適している。 ○話し合いの時間を決め（10分くらいが適当、最長2時間）5分まで延長して良いことに。（この5分に良いアイディアが出る率が高い。） ○ウォーミングアップをしてから開始してもよい。例えば「これは新聞紙ですが○○にも使えます」といった形でアイディアを出す練習をする。 ○他の人が出したアイディアをヒントに発展させる形でも良い。 ○話し合いの時間を前に設定すると約束し、話し合わない。（アイディアを出すことに集中する） ○アイディアを出す順番を決めておいてよい。（バスもできる） ○いろいろな立場を想定し、その立場（役）になったつもりでアイディアを出してよい。 | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| 練習①△△△専門の○○先生（関係する先生）にお話ししていただきたいこと。 | | | | | | | | | | | |

C：第3学年での取り組みとまとめ発表まで

1. 第3学年での取り組み

(1) 修学旅行（岩手）との関連

第3学年の1学期は行事が多く総合学習のための時間は4月と7月に1回ずつ、計4時間だけであった。5月に実施される修学旅行に向けて、自分たちの課題と合わせて研究を行えるか考えさせた。修学旅行の行動班は原則としてクラスの生活班であるが、総合学習で必要な場合にはグループでの活動を実現できるようにした。例えば映像のグループが旅行先の風景を背景に撮影したり、伝統工芸のグループが鉄器工房を見学したり、コウモリのグループが龍泉洞のコウモリについて特別に講義を受けながら見学したりした。

(2) 総合学習のまとめに向けて

2学期最初の総合学習は10月22日であった。修学旅行、体育大会、生徒祭と大きな行事を終え、久しぶりに確保できた時間であった。これまでの活動を振り返り、当初の目的などを確認する機会とした。このとき岩波映像株式会社制作の「いきいき学びの新潮流 総合的な学習の時間『第11回共同学習・テーマづくりからの出発』お茶の水女子大学附属中学校」のビデオを用いた。これは第2学年の2学期に学年テーマ決めから審議会を行った頃を収録したものであった。映像記録があったおかげで、生徒も興味深く視聴し、長い期間の空白を補うことができた。初心に返って今後を考えさせることにした。

第3学年3学期は高校入試と本校の入試のための自宅学習などで授業時間数が極端に少なくなる。限られた時間で3月の「総合学習フェスティバル」に向けての発表準備を進めなければならない。そのことを意識させ2学期の活動を進めるように促した（資料21）。

（資料21） 2学期の活動予定

| 未知との遭遇 | | 2002.10.22 | ④今後の活動内容 | 10/22 |
|--------------------------------|--|------------|--|--|
| グループ名 | テレビ番組の舞台裏 担当者 | | 「3年間のあゆみ」 ～大きくなつたね！ほくたち～ ・撮影 ← 内容まとめてから ☆編集☆ ◦入学式 ◦(1年2年3年)体育大会 ◦“ 生徒祭 ◦“ 合唱祭 ◦“ 合唱コンクール ◦ふたりのようす ◦志賀高原 ◦修学旅行 | 内容決め 10/29 撮影 編集用VTRあらめ 11/15 18日の中間発表に 向けて…撮影 12/10 撮影 |
| メンバー：長 | 福田セ | | ⑤総合学習フェスティバル企画案（発信の方法や工夫する点など） | |
| ①課題と目標（世の中につながること、世の中のためになること） | テレビ番組は、みんな一度は見たことがあるもの。けれどもその裏側は色々な方面から見える人々のことばよく知られていない。 →私たちを通してみんなに広め、みんなの見野を広げよう。 | | ◦T.V.の舞台裏で何の人たちの姿 仕事の内容を；Jラジオ紹介。 ◦実際につくったVTR放送 ◦番組を見て…の感想、思ったこと など紹介 | |
| ②研究の方法 | • 実際に見学 →その仕事についている方たちにインタビュー • インターネット、文献、調査。（テレビに関する仕事、基礎知識調査） • 自分たちで実際に番組作り | | | |
| ③これまでの活動 | 2年2学期 基礎知識調査、質問内容整理 2月 TBSテレビ見学 } 分かたごと 3月 岩波映像見学 } まとめ 3年1学期 番組作りにむけて… ◦内容決定 ◦役割分担 ◦撮影 ◦編集 | | | |

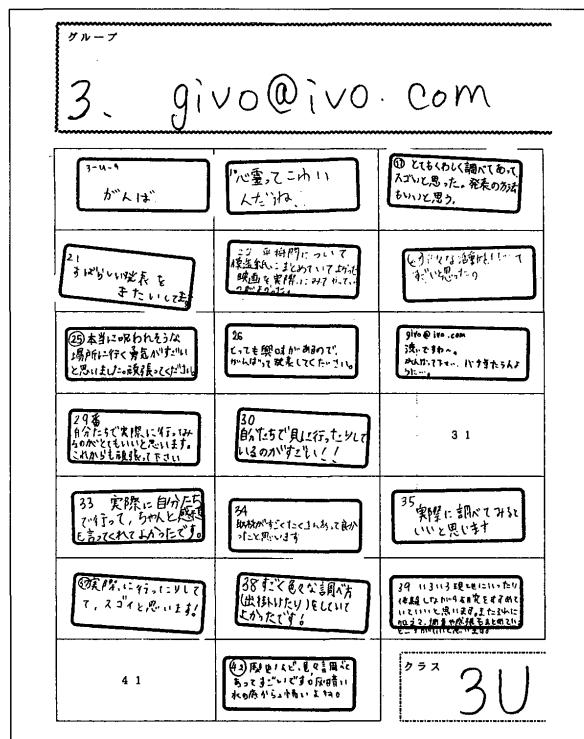
(3) 中間報告会

グループ活動の内容と今後の見通しを学年で共有するために、中間報告会を企画した。校内テレビ放送により、朝の15分や中間テスト終了後の時間を使って行った(資料22)。教室のテレビで報告を聞き、それぞれのグループにアドバイスを書き込んだシールを台紙に貼り(資料23)、各グループの参考資料とした。

(資料22) 中間報告会の予定表

| 総合学習 3月のフェスティバルに向けて | | 2002.10.29 |
|---------------------|------------------|---------------------|
| | グループ | 発信の方法 |
| 心靈B | お化け屋敷を知り作り(松岡) | 体験、模造紙 |
| | ゲゲゲの鬼太郎①(安藤) | 劇、紙芝居、映画、仮装、ビデオ |
| 心靈C | ゲゲゲの鬼太郎②(八木) | カード公開、ホームページ |
| | 風水(畠江) | 模造紙 |
| 心靈D | givo@ivo.com(遊佐) | 展示会、スポット紹介 |
| | 心靈写真をつくろう(田中さ) | 展示、模造紙、ディベート |
| 心靈A | | 未提出 |
| | 映画をつくろう(そ合) | 自作映画上映 |
| 映像革命D | テレビの舞台裏(小澤) | ビデオ上映 |
| | テレビの舞台裏(白田) | 「お茶中三年間の歩み」番組制作 |
| そぞぞう | ロボットの存在意義(石尾) | ホームページ |
| | 日本の伝統工芸(苦瓜) | 作品展示、パワーポイント、映像、模造紙 |
| 映像革命E | 恋愛心理(川島) | 冊子 |
| | 動物の能力(松川) | 模造紙、模型、ビデオ上映 |
| NSM | 千と千尋の神隠し(神戸) | ビデオ、OHP、画用紙 |
| | 宇宙未来を題材にした(吉井) | 冊子、パソコンゲーム |
| NSM | 宇宙未来を題材にした(濱島) | ビデオ、模造紙 |
| | コウモリ探検隊(秋山) | ホームページをつくる |
| ファンション | もし非常事態が起こる(香取) | ホームページをつくる |
| | 未来のスポーツを考え(中村) | 新しいスポーツをみんなで体験、模造紙 |
| NSM | 流行のメカニズム(伊奈) | 雑誌づくり |
| | スポーツ選手のファショ(三科) | ファッションショー、模造紙 |
| NSM | 未来的ファショデザイナー(山口) | 作品展示、ホームページ |
| | ファッション(尾) | 模造紙 |

(資料23) 各グループへのアドバイス



2. 発表とまとめ

(1) 総合学習フェスティバルの準備

卒業を目前にした3月の10日から13日の4日間を「総合学習フェスティバル」として学年発表会を行った。総合学習係が中心となり、企画・運営した。

係が考えた発表形式は、いくつかの会場で同時に発表をし、聞き手が発表を聞いて回る方式(複数会場同時発表方式)であった。発表するグループは発表者を順番に変え、他のグループの発表も見て回れるようにした。長編の映像を用いるグループやショー形式で発表をするグループは、学年の生徒を一堂に集めた一斉方式をとった。

発表会場やスケジュールなどの調整も、機材の調査や準備も全て係が中心になって行った(資料24)。また、4日間にわたる発表をいかに楽しみの持てるものにするか、係は考えた。

一つは、生徒たちが持つプリントである。スケジュール表やメモ用紙をわら半紙に印刷し配布しても1日で紛失してしまうおそれがあった。全員が4日間持ち続けられるように、色画用紙を用い、簡単に工作して小さな冊子(資料25)にした。また、全てのグループを聞いて回ったかどうかを記録できるスタンプラリー表をつくった。

(資料24) 総合学習フェスティバル機材一覧表

| 機材 | 武道場 | 合併室 | 3M | 3R | 3K | 3U | 第1理科室 | アリーナ | 本部 | 控室 |
|--------------|--------------------------------------|-----------------------------|-----------------------------|---------------|-------------------------------|-------------------------------|----------------------|-------|---------------|----|
| | 伊藤・神戸 | | 外川・田中 | | 土屋・寺田 | | 森山・熊坂 | | 廊下 | LL |
| 10 日 月 | コウモリ | 千と千尋の 神隠し | もしも非常 事態が起こ ったら… | 伝統工芸 | | givo @.com | | | | |
| | 山梨・外川 | 小宮・神戸 | 山梨・外川 | 加々美熊坂 | | | | | | |
| | ビデオ* (コンピュータ) ワープロ*2台 | ビデオ* (コンピュータ) ワープロ*2台 | ビデオ* (コンピュータ) ワープロ*2台 | | | (コンピューター) プロジェクタ ホード*5枚 | | | 3R 裁判所 | |
| | テレビの舞 台裏 | 宇宙未来 | 流行のメカ ニズム | 未来のスポ ル | 宇宙 | ロボット | | | | |
| 11 日 火 | 福田・伊藤 | 小宮・神戸 | 松本・土屋 | 山梨・外川 | 渡辺・森山 | 加々美熊坂 | | | | |
| | ビデオ* (コンピュータ) 2台 | DVD テッキ OHP | ワープロ | ワープロ | ビデオ* (コンピュータ) ワープロ | ホード | | | 放送会 (アリーナ) | |
| | ゲゲゲの鬼 太郎① | お化け屋敷 をつくろう | | 心電写真を 作ろう | 動物の能力 | 髪型 | 9:35 ~ 恋愛心理学 | | | |
| 12 日 水 | 堀ノ谷寺田 | 堀ノ谷寺田 | | 堀部・田中 | 山梨・外川 | 松本・土屋 | | 加々美熊坂 | | |
| | (コンピュータ) プロジェクタ 机5台5 (電卓3台) | MD テッキ (電卓10台) (電卓3台) | | ビデオ* 実物投影機 | MCD テッキ 延長コード ワープロ | なし | OHP 机4台6 ホード*2 | | 映画会 (武道場) | |
| 13 日 木 | スポーツ選 手のファン ション | 映像 | 風水 | | ゲゲゲの鬼 太郎② | 未来のファ ッション | 心電ス波 ト | | | |
| | 松本・土屋 | 福田・伊藤 | 堀部・田中 | | 堀ノ谷寺田 | 松本・土屋 | 渡辺・森山 | | | |
| | ビデオ* (コンピュータ) OHP | ビデオ* (コンピュータ) OHP | | MD テッキ | (コンピュータ) ワープロ*2台 (電卓3台) | ラジカセ (電卓3台) | | | 予行 (アリーナ) | |

機材は担当の生徒が準備します。セッティング及び()内の物品は担当の先生やグループの生徒でご準備下さい。

(資料25) 総合学習フェスティバルの小冊子(一部)

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|-------|-------|--------|-------|--------|-------------------------|----|----|----|----|------------------------|-----|-----|-----|-----|-------------------------|------|------|------|------|------------------------|------|------|------|------|-------------------------|------|------|------|------|------------------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| <p>総合学習 フェスティバル しーくれっとのーと☆</p>  <p>2003.3.10~13</p> <p>グループ名 _____</p> <p>3年組()</p> <p>名前 _____</p> | <p>スタンプ一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>モコモコ</td><td>モコモク</td><td>モコモク</td><td>モコモク</td><td>モコモク A</td></tr> <tr><td>白鳥</td><td>白鳥</td><td>白鳥</td><td>白鳥</td><td>白鳥</td></tr> <tr><td>山梨A</td><td>山梨B</td><td>山梨C</td><td>山梨D</td><td>山梨E</td></tr> <tr><td>3:30</td><td>3:30</td><td>3:30</td><td>3:30</td><td>3:30</td></tr> <tr><td>3:45</td><td>3:45</td><td>3:45</td><td>3:45</td><td>3:45</td></tr> <tr><td>4:00</td><td>4:00</td><td>4:00</td><td>4:00</td><td>4:00</td></tr> <tr><td>4:15</td><td>4:15</td><td>4:15</td><td>4:15</td><td>4:15</td></tr> <tr><td>4:30</td><td>4:30</td><td>4:30</td><td>4:30</td><td>4:30</td></tr> <tr><td>4:45</td><td>4:45</td><td>4:45</td><td>4:45</td><td>4:45</td></tr> <tr><td>5:00</td><td>5:00</td><td>5:00</td><td>5:00</td><td>5:00</td></tr> <tr><td>5:15</td><td>5:15</td><td>5:15</td><td>5:15</td><td>5:15</td></tr> <tr><td>5:30</td><td>5:30</td><td>5:30</td><td>5:30</td><td>5:30</td></tr> <tr><td>5:45</td><td>5:45</td><td>5:45</td><td>5:45</td><td>5:45</td></tr> <tr><td>6:00</td><td>6:00</td><td>6:00</td><td>6:00</td><td>6:00</td></tr> </table> <p>★必ずすべて集めましょう。</p> | モコモコ | モコモク | モコモク | モコモク | モコモク A | 白鳥 | 白鳥 | 白鳥 | 白鳥 | 白鳥 | 山梨A | 山梨B | 山梨C | 山梨D | 山梨E | 3:30 | 3:30 | 3:30 | 3:30 | 3:30 | 3:45 | 3:45 | 3:45 | 3:45 | 3:45 | 4:00 | 4:00 | 4:00 | 4:00 | 4:00 | 4:15 | 4:15 | 4:15 | 4:15 | 4:15 | 4:30 | 4:30 | 4:30 | 4:30 | 4:30 | 4:45 | 4:45 | 4:45 | 4:45 | 4:45 | 5:00 | 5:00 | 5:00 | 5:00 | 5:00 | 5:15 | 5:15 | 5:15 | 5:15 | 5:15 | 5:30 | 5:30 | 5:30 | 5:30 | 5:30 | 5:45 | 5:45 | 5:45 | 5:45 | 5:45 | 6:00 | 6:00 | 6:00 | 6:00 | 6:00 |
| モコモコ | モコモク | モコモク | モコモク | モコモク A | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 白鳥 | 白鳥 | 白鳥 | 白鳥 | 白鳥 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 山梨A | 山梨B | 山梨C | 山梨D | 山梨E | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3:30 | 3:30 | 3:30 | 3:30 | 3:30 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3:45 | 3:45 | 3:45 | 3:45 | 3:45 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4:00 | 4:00 | 4:00 | 4:00 | 4:00 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4:15 | 4:15 | 4:15 | 4:15 | 4:15 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4:30 | 4:30 | 4:30 | 4:30 | 4:30 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4:45 | 4:45 | 4:45 | 4:45 | 4:45 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5:00 | 5:00 | 5:00 | 5:00 | 5:00 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5:15 | 5:15 | 5:15 | 5:15 | 5:15 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5:30 | 5:30 | 5:30 | 5:30 | 5:30 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5:45 | 5:45 | 5:45 | 5:45 | 5:45 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 6:00 | 6:00 | 6:00 | 6:00 | 6:00 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 10日 総合学習フェスティバルタイムスケジュール <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>8:30</td><td>9:00</td><td>10:00</td><td>11:00</td><td>11:45</td></tr> <tr><td colspan="5">午前会場 午前中の特典会</td></tr> <tr><td colspan="5">午後会場 午後の特典会</td></tr> <tr><td colspan="5">午前会場 午前中の特典会</td></tr> <tr><td colspan="5">午後会場 午後の特典会</td></tr> <tr><td colspan="5">午前会場 午前中の特典会</td></tr> <tr><td colspan="5">午後会場 午後の特典会</td></tr> </table> | | 8:30 | 9:00 | 10:00 | 11:00 | 11:45 | 午前会場 午前中の特典会 | | | | | 午後会場 午後の特典会 | | | | | 午前会場 午前中の特典会 | | | | | 午後会場 午後の特典会 | | | | | 午前会場 午前中の特典会 | | | | | 午後会場 午後の特典会 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 8:30 | 9:00 | 10:00 | 11:00 | 11:45 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 午前会場 午前中の特典会 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 午後会場 午後の特典会 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 午前会場 午前中の特典会 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 午後会場 午後の特典会 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 午前会場 午前中の特典会 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 午後会場 午後の特典会 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 11日 総合学習フェスティバルタイムスケジュール <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>8:00</td><td>9:00</td><td>10:00</td><td>11:00</td><td>12:00</td></tr> <tr><td colspan="5">午前会場 午前の特典会</td></tr> <tr><td colspan="5">午後会場 午後の特典会</td></tr> <tr><td colspan="5">午前会場 午前の特典会</td></tr> <tr><td colspan="5">午後会場 午後の特典会</td></tr> <tr><td colspan="5">午前会場 午前の特典会</td></tr> <tr><td colspan="5">午後会場 午後の特典会</td></tr> </table> | | 8:00 | 9:00 | 10:00 | 11:00 | 12:00 | 午前会場 午前の特典会 | | | | | 午後会場 午後の特典会 | | | | | 午前会場 午前の特典会 | | | | | 午後会場 午後の特典会 | | | | | 午前会場 午前の特典会 | | | | | 午後会場 午後の特典会 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 8:00 | 9:00 | 10:00 | 11:00 | 12:00 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 午前会場 午前の特典会 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 午後会場 午後の特典会 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 午前会場 午前の特典会 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 午後会場 午後の特典会 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 午前会場 午前の特典会 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 午後会場 午後の特典会 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

全ての生徒が聞き手であると同時に発表者でもある。張り合いを持って発表できるように最後に投票し表彰する機会を設けることにした。投票方式は、票数が重さで簡単にわかるように1円玉にした。また、優勝グループには副賞としてスタジオでの写真撮影を考えた。

これまでお世話になった方々に是非発表を見ていただこうと、フェスティバルのお知らせを出そうという話になった。対象者は第2学年3学期のスペシャルウィークで講演して下

さった3人の先生方、テーマ決めなどの撮影でずっと近くで見守ったださった岩波映像の方々、志賀高原、岩手修学旅行と宿泊行事を共にしてくださった校長先生であった。

しかし、最終的に書けたのが岩波映像さん宛のものだけであった(資料26)。しかも月曜日からの発表会なのに書き上がったのが前週の金曜日であった。こんな直前のお知らせは失礼にあたると思いつつも、生徒の気持ちを伝えようと郵送の前にFAXを送らせていただいた。

(2) 総合学習フェスティバルの実際

係は廊下の隅に本部を設置して、交代で当番をし、スタンプの貸し出しや発表開始の放送を行った。フェスティバルの雰囲気を出すための工夫もこらした(写真5)。

(資料26) フェスティバルのお知らせ

| |
|---|
| 3月7日 |
| 岩波映像様 |
| 拝啓 |
| 3月に入り、日ごとに春のぬくもりを感じる今日この頃、皆様にはいかがお過ごしでしょうか。 |
| 私たちは卒業を間近に控え、残り少ない中学校生活を大切に送っております。 |
| さて、そんな中、昨年度からすみれ組が開催してきた総合学習もいよいよまとめの時期となり、グループ活動で学んだことを学年全員で共有するため、「総合学習フェスティバル」が開かれることになりました。 |
| そこで、テーマ決めから私たちの総合学習を見守って下さい岩波映像の皆様を、このフェスティバルにご招待したいと思います。 |
| 総合学習フェスティバル |
| 3月10日(月)～13日(木)4日間の、午前中 |
| ご都合がよろしければ、ぜひお越し下さい。 |
| 敬具 |
| お茶の水女子大学附属中学校 3年生 |

お茶の水女子大学



(写真5) 総合学習フェスティバル本部の様子

機材やボードなどは係が会場に用意したが、それを使えるようにセットアップするのはそれぞれのグループのメンバーとグループを担当する教官であった。コンピュータ画面やビデオ映像を一つのプロジェクターで映したりする場面で機械操作に時間がかかることがあった。そのため開始時刻が遅れたりしたが、発表内容を割愛したり、その後のスケジュールを少しずつ調整することで昼の終了時刻を守るようにした。

初日の第1回目の発表は「『千と千尋の神隠し』の世界」のグループで、映像を用いた一斉のものであった。開始予定は8時半であったが、集合や冊子づくりと機材のセットなどで予定が遅れた。係が司会をしながら生徒の気持ちを盛り上げるように工夫していた。

係の生徒たちが感動したのは、会場に岩波映像の方々がいらっしゃったことだった。お忙しい中、朝早くからいらっしゃり、その後の各教室での発表も見て回り、また、係の生徒にご丁寧にお礼のお言葉までかけてくださいました。

校長先生には生徒が持つ冊子を机上に置かせていただいた。それをご覧になった校長先生は、大学の仕事の合間に縫って発表を見てくださいました。

各グループの発表方法は様々であった。模造紙に図や写真を貼ったり、実物を展示したり、実体験できるようにしたり、資料の冊子を配ったり、OHPや映像を用いたり、コンピュータプレゼンテーションソフトを用いたり、模擬ディベートを演じたり、紙芝居や映像という形でオリジナル作品を創り上げたりと工夫が多く見られた（写真6）。



(写真6)
「伝統工芸」グループの発表の様子（映像、取材時の写真、実物を展示）

| 10日 総合学習フェスティバル | | 発表を聞いて学んだこと | 感想 |
|-------------------------|---|---|----|
| 会津里 千と千尋の神隠し | 「千と千尋」の登場人物のモデルがほんじんで笑いでいたいと申す事であったといふ事。 | 車に映画を観た感想を述べていたり、でも登場人物のモデル等も秀んで作業をしたのがいいと思った。 | |
| 武道上昇 コウモリ | 龍泉洞に住んでいたコウモリの種類や、(5種類)コウモリは冬方に起きて夜にエサを探すこと等。 | コウモリについて詳しく知りたいと、発表方法をよがたとも思った。コウモリの生態を考えたのがよかったです。 | |
| 3H もしも非常事態 が起きたら… | 避難通路に物を置かない事、火事の時には火と同様に煙にも気をつけなければいけない事。 | ビデオはまだたけじ、その説明が詳しくないのが残念だった。 | |
| 3R 伝統工芸 | 伝統工芸の現在の状況や、その写真や実物などの展示。 | パンフレット等が置かれていて、写真などもありわかりやすかったと思う。 | |
| 3K givo@.com | 関東で心霊スポットが多いのはトンネルが多いため、自然災害の人多いところが心霊スポットになりやすい。 | 怖かった……。映像や模型などをとてもよかったです。 | |

1日の発表を聞き終えたら本部に提出して下さい。

(資料27) 総合学習フェスティバルの個人記録用紙（一部） →

生徒は発表を聞いてまわり記録用紙に簡単に記録をとった(資料27)。その記録用紙を毎日

係が集め、係りと担当教官が目を通すようにした。

フェスティバル最終日の最後の発表は、やはり映像を中心とした一斉のものであった。その後、1円玉による投票が行われた。一人3円を持ってきて、良かったと思うグループの紙コップに入れていくのである(写真7)。1円玉の入れ方は自由で、とっても良かった1つのグループに3円入れてもよいし、甲乙つけがたい3つのグループに1円ずつ入れてもよいことにした。投票直後に電子天秤で重さを量り、上位5グループを昼食時に放送で発表した。放課後、近くの写真スタジオで記念撮影をし、写真は生徒昇降口に掲示された(写真8)，この手配も全て係の生徒が行った。

(写真7) →
係が見守る中で
の投票の様子



←(写真8)
第1位のグル
ープがスタジオへ
行った時の様子
(両端各1名が
引率の係員)



(3) まとめ

これまでの各グループ及び係りの取り組みを原稿記録として残すことにした。それを取りまとめる係は総合学習係ではなく、別に総合学習まとめ係としてクラスから2名ずつ募った。構成を「テーマ決め」「各グループの研究内容」「総合学習フェスティバル」とした。

III 実践を振り返って

1. 生徒が創り出す総合学習への試みについて

(1) 学年テーマ決めからグループ・課題決めまで全て生徒が進めたこと

生徒の意見をもとに決めていったため、自分たちで決めたテーマ、課題という意識を全員が持つことができた。これまでのお仕着せではない総合学習であったため、生徒の主体性を大いに高められたと考えられる。

ただし、アンケートでテーマがいくつかに絞られた時点で、テーマに関するディスカッションを行う場面を設定すれば良かったのではないかと反省している。自分はどのテーマでどのような課題に取り組みたいか意見を述べ合えると、その後の見通しや課題づくりのヒントを得ることができたと考えられる。

(2) 課題審議会

グループ課題として眉をひそめてしまうものもあったが、教官が一方的に課題を却下することはしなかった。繰り返される審議会での質疑応答やグループ内の話し合いを通して、総合学習として学ぶ意義を明らかにしていく手順を踏んだ。このことで生徒自身、総合学習とは、自分たちの課題の意義、研究の見通し等を明確にできた。

一方、生徒に枠をはめずに進めていく場合の反省点として、総合学習が始まる時点での意識づけが少なかったことが挙げられる。総合学習のねらいや自主研究との違いを全員にしっかりと理解させることが重要であると改めて感じた。

問題意識を明確に持ったグループは早く成立し、活動期間も長くなり、充実した活動を行えた。一方、課題が大きく変わったり、メンバーが入れ替わったりと、見通しそう立たない状態のグループもあった。

審議会を繰り返すことで、成立するグループ数は増えたものの、それでも合格しないグループは、ミニ審議会をグループのまとまりの中で行った。評議員と審査員、複数の教官による審議会と比べると基準が甘かったような印象があった。ミニ審議会にもなかなか合格しなかったグループは研究活動も発表も内容的に不十分なものであった。しかし、第1学年の総合学習では主体的に取り組めなかつた生徒たちが、この総合学習では審議会に合格するために話し合ったり、発表に向けて準備したり、まとめの原稿を書いたりと、何もしないで過ご

すことが許されない状況であった。

取り組み方や内容の程度におけるばらつきが目についたものの、総合学習を生徒全員が自分のこととして捉え取り組んでいってほしいというねらいは、これまでの方法より達成できたと考えられる。

(3) 組織・運営

① 総合学習係（評議員）

第2学年では第1学年と同様、評議員が総合学習を担当した。しかし、生徒を中心となって企画・運営するため、仕事量は膨大となった。特に、グループの成立に向けての話し合いや審議会の時期が最も大変であった。中には部活動に出られずストレスを抱えたり、さぼって部活に行ってしまったりする評議員もいた。しかし、多くの評議員は意識が高く、自分たちで総合学習を進めていくために何をすべきか話し合い、アイディアを出し合った。かなり意欲的に取り組んでいたと評価できる。また、彼らが前面に出て活動したことで、学年の生徒たちの気持ちもより一層前向きになれたと考えられる。

反省点は教官同士の連絡が不十分な場合があったことである。朝の連絡会では伝えきれなかったり、総合学習の直前に生徒との打ち合わせをするものもあった。総合学習係がしっかりと指示を出すため問題はなかったが、打ち合わせに出席しない係がいたりすると、指示が不明確になりグループが右往左往することもあった。

② グループ担当教官

20以上のグループを2名の総合学習担当教官が把握することは困難である。また、総合学習は学年担当教官全員で関わることになっている。自主研究と同じように、似た課題をもとに作られた8つのまとまりにそれぞれに学年の教官を配属した。女子のみ、男子のみのまとまりもあった。エネルギーッシュに活動するグループもあれば、何を言っても動こうとしないグループもあった。自主研究での生徒への示唆的指導を応用して生徒の指導・支援に当たった。しかし、適切なアドバイスを要所要所で行える教官と、何も助言しないままの教官と、生徒への関わりは様々であった。総合学習では教科の指導技術だけでは対応しきれない部分が多い。教官の支援のあり方についても検討の必要があると反省した。

2. 創造を支える情報活用力の視点から

本総合学習は全て生徒が主体となって進めるため、課題発掘・課題の設定から情報収集、再構成、発信と一連の探究活動の全てで生徒の力が要求された。自分たちで切りひらかねばならない厳しい総合学習を体験する中で、求められた力が生徒の中で育まれたと考えられる。

次ページの一覧は、平成14年度本校で実施した研究発表会の紀要に掲載された「創造を支える情報活用力」について、各視点からまとめた学習内容の要素に合わせて、本総合学習の実践を評価した。

| | 学習内容の要素 | 実践した総合学習の評価 |
|--------------------|--|--|
| 情報活用力 | 目的に向けて情報を収集(精度の高い情報を複数集める), 判断・処理(情報の吟味・選択, 情報の分類・整理)→再構成(目的に沿って再構成, 考察), 発信する実践力(表現の効果, 仲間や社会への発信と交信) | <ul style="list-style-type: none"> ○学年テーマ・グループ課題決めから全て生徒たちが主体となって取り組んだ総合学習であったため, 自己の目的が明確化した。特に課題審議会と評議員による企画・運営が効果的であった。 ○学年での共有を当初から目標にしていたため, 学年の仲間にに対する発信・交信が主であった。卒業前の総合学習フェスティバルが最終発表会となつたが, 中間発表や報告会などの機会も設けた。 |
| メディア | メディアの特性や限界性, メディアに対する感性, 目的にあったメディアの選択, 発信の責任とマナー | <ul style="list-style-type: none"> ○活動を通して身につけていったと考えられる。 ○NHK北川さんによる「テレビの舞台裏」の講演やメディア取材をしたグループの発表から学んだ。 |
| コミュニケーション・コラボレーション | 自分の考え方や伝え方, 共感的な話の聞き方, 出た考えを認め合う, 小グループで創造性を發揮するコラボレーションを体験する, 討議のマナー, ルール, 司会の仕方, コミュニケーションのツールや場面による違い, 地域社会や海外への発信活動, 目的を持ったプロジェクト的な学習を仲間や外部の人と協力して行う | <ul style="list-style-type: none"> ○グループでの共同学習を進めること自体がコミュニケーションとコラボレーションの連続であった。意見をまとめて方向付けていくことの難しさや協力の大変さと喜びを体験を通して学べた。 ○お茶大伊藤先生の「青年心理学」, お茶中西平先生の「五行陰陽説」の講演は人の深層心理や相性などについての学びとなり, 人間関係やお互いを思いやる気遣いについて考える機会となった。 ○仲間内で安易な方向へ流れるグループもあった。しかし, 全員が何らかの形で学習に参加できた。 ○総合学習フェスティバルが目標となり, 相談や分担・協力, コラボレーションの機会となった。 |
| 思考力 | 課題把握, 目標設定, 情報の見通し, 方策の見通し, 制約の見通し, 話し合い, 役割分担等, 拡散的思考, 発想の収束法 | <ul style="list-style-type: none"> ○「総合学習とは」から始まり総合学習として学ぶ意義のある課題づくり, 最終目標と課題解決の方法, 役割分担と話し合いがなされた。課題審議会の審査項目と審査基準の設定がよかつたと考えられる。 ○ブレーンストーミング等の方法を学ぶ機会を設けたが, 単に学習会で終わってしまったようである。 |
| p c | パーソナルコンピュータ (pc) やネットワークコンピュータの活用(創造, コミュニケーションやコラボレーション, 探究, 学びの振り返り, 効果的活動等の楽しみを生み出すツールや環境) | <ul style="list-style-type: none"> ○課題発掘や研究の見通し立てる段階から探究活動まで気軽に教室や図書室, コンピュータ室のコンピュータで検索をして情報収集を行っていた。 ○発表ではプレゼンテーションソフトを活用したグループもいくつかあった。 |

次に特に重きを置いた次の二つの視点から、実際のグループ活動を振り返ってみた。

(1) 情報活用力に関して

伝統工芸のグループは、池袋の伝統工芸展示会に参加したり、東京の伝統工芸師にインタビューをしたり積極的に活動した。恋愛心理学のグループは基礎調査に加え、生徒に心理テストを実施し、クラス男女別の特性を調べたりした。テレビの舞台裏について調べるグループは、TBSや岩波映像の制作現場を見学したり、出演者を生徒から募り、自分たちが考えた脚本で映像を創ったり、自分たちの3年間の記録映像を編集したりした。最終的なまとめ方も、調べたことを展示するだけでなく映像や作品、ショーなど工夫が見られた。

「もしも非常事態が起こったら…」を課題にしたグループでは、日本科学未来館を見学した際、予めアポイントメントをとって最新の防災システムの説明を受けた。また、煙の広がるスピードを調べるために、校内で発煙筒をたいて実験を行った。修学旅行では田老町の津波監視システムを役所で見学させてもらった。これらは担当した教官の適切なアドバイスが動機付けとなった例もあるが、生徒たちが多様な情報を集めた例の一つでもある。

(2) コミュニケーションとコラボレーションに関して

女子だけのグループの中にもコミュニケーションをうまくとれないグループがあった。おとなしい生徒たちの集まりで、誰かが声を出して話を進めようとしても話が途切れ、沈黙が続く。そんなとき、担当教官が声をかけ話が進むように支援することもあった。結局そのグループは中心になる生徒たちが立案し、小さな仕事をメンバー全員に割り振り、最終的には審議会で提案されたディベートを取り入れた発表を行った。

逆にメンバー全員が意欲に満ちあふれ、それぞれが考えを主張し、一向にまとまらないグループもあった。しかし、激しく意見をぶつけ合いながらも調整し、収束させる方向を模索していく。本人たちにとっては強烈な体験であり、大きな学びの場でもあったようである。

主導権を握る生徒が批判ばかりしている場合もあった。はじめはその生徒の流れで研究が沈滞した。しかし、最終的には、他の生徒たちが当初の計画に従い活動を進めた。途中で中断していたため、検証実験などは十分に行えなかつたが、自分たちが動かねば何も進まないことを学んだ。

宇宙未来を題材にした映像から地球の問題点を見出し今どうすべきかを考えるグループでは、映画を分析するだけでなく、温暖化などの地球の問題を手分けして調べたり、映像を編集したり、資料冊子をつくったりと分担と協力がうまく行えた。

程度の差はあるが、どの生徒も体験を通して協力・コラボレーションの難しさとコミュニケーションの機微を学ぶことができたと考えられる。

3. 成果と課題

本学年の総合学習は、第1学年での二つの問題点を解決することに原点があった。このことを踏まえ次に成果と課題を整理して示すこととする。

| 成 果 | 課 題 |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ① 学年テーマ・課題と全てを生徒が考えることで、総合学習に主体的に取り組めた。 ② 課題審議会に合格するために、総合学習の意義や課題の見通しなどを考えられた。 ③ 学年での共有を常に意識し、講演や見学、中間報告会など工夫して行えた。 ④ 時間にゆとりがあり、多方面からの取り組みや情報収集が可能となった。また、まとめや発表の準備も行えた。 ⑤ 総合学習スペシャルウイークや総合学習フェスティバルなどが活動の目標になった。 ⑥ 共同学習でのコミュニケーション・コラボレーションを体験により学べた。 | <ul style="list-style-type: none"> ① 総合学習を始めるに当たって、ねらいや自主研究との違いを明確にするべきだった。 ② 審議会になかなか合格しないグループへの指導のあり方を検討する必要がある。 ③ グループの数や種類などが多くなりすぎないように注意する必要がある。 ④ 定期的に総合学習の時間をとることができず、生徒にとってもリズムが掴みにくかった。 ⑤ 総合学習フェスティバルでは中間発表を行えたグループが僅かしかなかった。 ⑥ 仲間同士の活動に厳しさが欠けることもあった。教官の支援を検討する必要がある。 |

IV おわりに

担当者として時に生徒の発想に戸惑うこともあったが、そこから学ぶ点もとても多くあった。特に、生徒全員が総合学習や発表会を楽しみに思えるように、評議員や係り、グループの生徒から出されるアイディアや工夫は「目からウロコ」のように発見が多く、大変勉強になった。

本稿で報告した総合学習は、今日的な課題ではなく心靈やお化け屋敷などに関わることを課題にするグループがあったため、本校内では「はずれた取り組み」として見られた。そのため、学年テーマ決めを撮影していた岩波映像株式会社に対して学校側から取材中止の申し入れがあった。しかし、試行錯誤しながらも新しい取り組みをする本学年の活動を紹介したいという取材者側からの再度の強い依頼があったため、撮影が再開されることになった。この事実を後から知ることになったが、校外の方々に本学年の取り組みの意図を理解して頂けたことに喜びを感じると同時に、改めて目標に向けてしっかりと頑張っていこうという気持ちになった。

また、NHK の北川様、お茶大の伊藤先生、本校の西平先生が講演という形でご協力くださったこと、岩波映像の方々が総合学習フェスティバルの連絡を受けて直ちに参加しいてくださったことが、生徒にも教官にも大きな感激と励みになった。生徒は大人のあたたかい行為に触れ、さらなる意欲が喚起された。教官は大人の誠実な態度が生徒の心に大きく響くことを学んだ。本当にありがたかった。この場をかりて感謝申し上げます。

「『課題設定→仮説→検証の方法を考える→検証活動→まとめとボードによる発表』という一連の探究活動を、仲間とディスカッションしながら進めることで問題解決力や表現力を身につ

けることができる」と研究会⁽³⁾で学んだ。これまでの総合学習は学年テーマも目標も教官が示し、生徒はそれに沿って活動のバリエーションを考えるだけであったが、本総合学習は始めから生徒が考え、試行錯誤しながら進めた。課題などの見た目は悪くても、実質的には本来の総合学習の目標に近づくことができたのではないだろうか。

生徒たちのまとめの原稿に書かれた「総合学習から学んだこと」を読んでみると、この総合学習が生徒たちにとって手応えのある学びの機会となつたことを実感できた。特に、第2学年の評議員の一人で、部活動に燃え総合学習の準備活動を負担に思っていた生徒と、2年間総合学習の担当として活躍した生徒との感想が印象的であった。ここに紹介し、本稿を閉じることにする。

自分についての総合学習

普段学習で聞くと学校の各科目のことを思い出すと思う。
けれど、総合学習を知ってそれがなぜやらないといふことを
思ふからである。

最初総合学習といふ言葉を聞いた時、「え?何?」と思った。
そして、お義中がその草分け的存在という事を後に知った。
今、改めて総合学習について考えてみると、こんなすごいものはあまりないんじゃないかなと思う。
どこがすごいのか説明するともう自ら研究に勝手ともううないやう気がないといけないといふところ。
またチームワークも必要になってくるといふところだ。

今度は自分の経験した総合学習について話すと、印象に残っているのが、「審議」について、これは少しく見ていた。完全に先生たちでみんなを納得させないと通らないといふ仕組み。
実は自分達のグループ最後まで通らなかった。
でも今日はそれが良かったと思う。

実際に総合学習をやってみると思つていていたより、**かなり大変**。
情報収集から行から全部自分でやらないといけない。
すでにレポートは數かれていない。
開拓しないといけないのだ。
しかし、これを別の視点からとらえてみると、それに見合った力がつくといふ、と感じた。
滅多にできない経験を思うので**絶対大切にした方がいい**。
あーでも大変にすればなあ
でもうまくいかないからてヨヨヨしてはいけない。
それでも力はついている。
↑自分への慰め?

2年生のときの総合学習 テーマ決め・審議……

3U(33)

1年生の頃に「江戸・東京」や「横浜」をテーマとした総合学習にとりくんでいました。が2年生になつてはじわつた今回の総合学習は、テーマから自分たちで「決め、1からつくりあげてきました」。

まずテーマ決めです。私自身総合学習のことがよく分からなくて、最初は少しとまひました。そして1年生のときの「江戸・東京」「横浜」をいかしつつ、みんなが学習を発展させていくテーマを目指して、学年投票、評議員による審議を重ねた結果ついに!  未知との遭遇に決定したのです。

その後グループ内で「テーマとの関連、世の中とのつながり」など練ってもらい、審議にかけました。
この審議は、学生の先生方、評議員、グループの代表すべてが集まり、厳密に時間を持って行いました。はりつめた空気が流れ、評議員の声も緊張しました。(とつとも)
結果は、全25グループ中、たったの2グループだけ合格。審査した側の自分たちも、改めて審議の厳しさに驚きました。
結局再審議、再々審議と重ね、全グループ合格して活動を始めるまでには時間がかかりました。
何度審議を受けても合格せず、「もう総合学習なんていいよ……」と言評議員が厳しそう」という声もちらほら聞こえました。総合学習の時間がみんなに嫌われてしまうんじゃないかな、とても悲しかったです。
が、今、全グループが合格し1年間活動をしてきたとき、少しきえてみると、あのときの厳しさがあったからこそ、それぞれのグループで1年間学習を経験されたのかもしれない、と思います。「今度こそ審議に受かってやる」とグループ内で計画を練り上げたことで、ここまでこれたのだと思います。
この集録を読みながら、1年前の審議のことを思ふと、自分たちのがんばりが自分の目で確かめられるでしょう。
1年間本当に疲れ様でした。

(写真1*)～(写真4*) 岩波映像株式会社制作の「いきいき学びの新潮流 総合的な学習の時間『第11回共同学習・テーマづくりからの出発』お茶の水女子大学附属中学校」ビデオから写真を制作

- (1) 平成13年度お茶の水女子大学附属中学校 研究紀要第30集 p.190～197
- (2) 平成14年度お茶の水女子大学附属中学校教育研究協議会 研究紀要 p.17～33, p.91～108
- (3) 学芸大学助教授 川崎誠司先生による講義 テーマ「多文化教育について」平成15年4月
お茶の水女子大学附属中学校研究会
- (4) 飯田和明ら編著「総合的な学習『ガイド&スキル』」東京法令出版株式会社 (2002年出版)